

## 連絡協議会用 試験概要説明

公益財団法人 日本英語検定協会

2015年3月17日

英検

後援：文部科学省

## 実用英語技能検定試験（英検）

1

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

### 英検協会テストの概要一覧

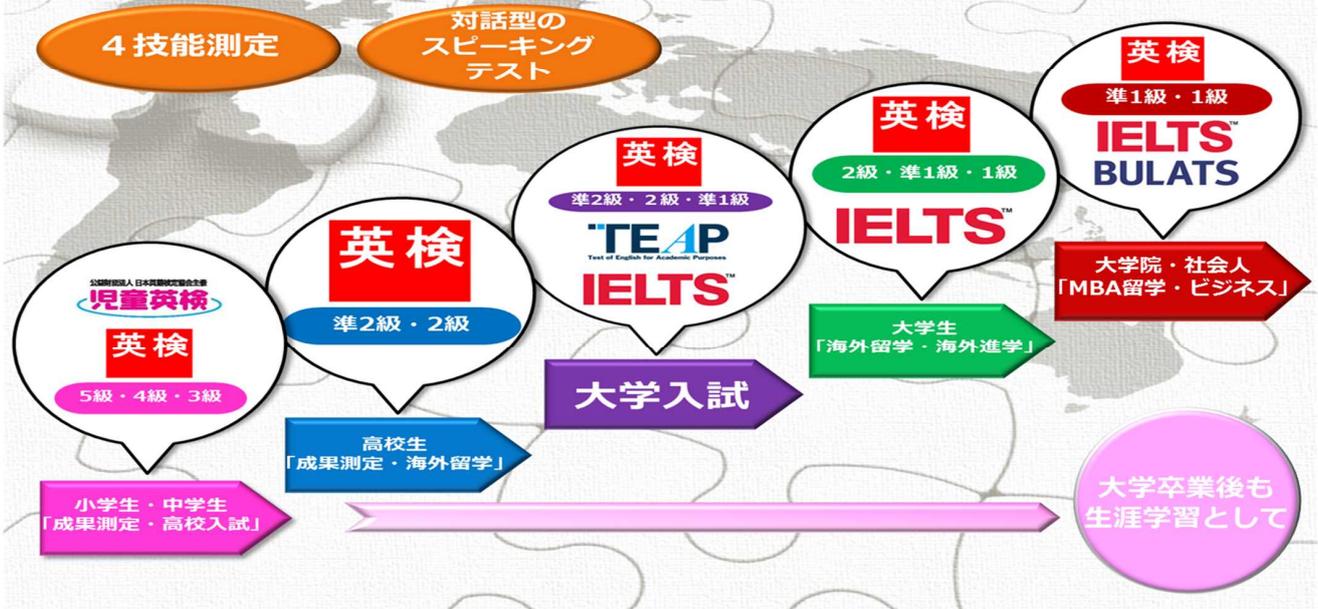
| CEFR レベル              | CSE スコア   | 一般的英語力                        |               | アカデミック系英語力        |  | ビジネス系英語力          |
|-----------------------|-----------|-------------------------------|---------------|-------------------|--|-------------------|
|                       |           | 英検<br><small>後援：文部科学省</small> | センター試験        | IELTS™            | TEAP<br><small>Test of English for Academic Purposes</small> | BULATS            |
| C2                    | 3300-4000 | ↑<br>↓                        | ↑<br>↓        | ↑<br>↓            | ↑<br>↓   | ↑<br>↓            |
| C1                    | 2800-3299 |                               |               |                   |  |                   |
| B2                    | 2500-2799 |                               |               |                   |  |                   |
| B1                    | 2300-2499 |                               |               |                   |  |                   |
| A2                    | 2100-2299 |                               |               |                   |  |                   |
| A1                    | 0-2099    | 4 技能<br>(R L S W)             | 2 技能<br>(R L) | 4 技能<br>(R L S W) | 4 技能<br>(R L S W)  | 4 技能<br>(R L S W) |
| 対象となる技能               |           |                               |               |                   |  |                   |
| 日本の英語教育 (学習指導要領) への配慮 |           |                               |               |                   |  |                   |
| 主たる受験者層               |           | 全年齢層                          | 高校3年生         | 主に高校生以上           | 高校2年生以上  | 大学生以上             |

2

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

# 英検・TEAP・IELTSから広がる世界

成果測定から入試・海外留学へ



CSE尺度による尺度



3

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved

## ご説明の流れ

- ① 目的・内容・出題意図の概要
- ② 出題レベル(CEFRとの参照含む)
- ③ 学習指導要領(および「思考力・判断力・表現力」との対応関係)
- ④ 中学・高等学校・大学・自治体等との連携による取組事例・概要
- ⑤ 今後の取り組み等

【巻末補足資料】

新・英語スコア尺度「CSE」開発の試み

4

© Eiken Foundation of Japan, All rights reserved



日常会話

日常会話・アカデミック・ビジネスコンテキストの割合を意識した問題作成。

A: Sorry to leave your birthday party early, Tracy.

B: Do you have to go so soon? At least ( ) until I open your present.

1. pass down    2. strike back    3. make up    4. stick around

アカデミック

Students are not allowed to bring cell phones onto school grounds. This rule is difficult to ( ), however, because teachers cannot search the students or their lockers.

1. pluck    2. enforce    3. recollect    4. remodel

ビジネス

A: How are you enjoying your new job, Roger?

B: The work itself is a bit boring, but it's ( ). I like my colleagues, and the salary is reasonable.

1. ashamed    2. stealthy    3. dissimilar    4. tolerable

| 級   | 一次試験タスク   |   |                 | 二次試験タスク   |
|-----|---|---|-----------------|---|
|     | 読む  | 聞く  | 書く              | 話す  |
| 1級  | ・短文語句空所補充<br>・長文語句空所補充<br>・長文内容一致選択             | ・会話内容一致選択<br>・英文内容一致選択<br>・Real-life放送内容一致選択<br>・インタビュー内容一致選択 | ・指定トピックに関する文章作成 | ・簡単な日常会話<br>・幅広い社会性のあるトピックに関するスピーチ<br>・スピーチ内容に関する質疑応答               |
| 準1級 | ・短文語句空所補充<br>・長文語句空所補充<br>・長文内容一致選択             | ・会話内容一致選択<br>・英文内容一致選択<br>・Real-life放送内容一致選択                  | ・Eメール等返信文作成     | ・簡単な日常会話<br>・イラストの描写説明<br>・イラストに関する質疑応答<br>・幅広い社会性のあるトピックに関する質疑応答   |
| 2級  | ・短文語句空所補充<br>・長文語句空所補充<br>・長文内容一致選択             | ・会話内容一致選択<br>・英文内容一致選択  | ・短文中の語句整序       | ・パッセージの音読<br>・パッセージに関する質疑応答<br>・イラストに関する質疑応答<br>・社会性のあるトピックに関する質疑応答 |
| 準2級 | ・短文語句空所補充<br>・会話文空所補充<br>・長文語句空所補充<br>・長文内容一致選択 | ・会話応答文選択<br>・会話内容一致選択<br>・英文内容一致選択                            | ・短文中の語句整序       | ・パッセージの音読<br>・パッセージに関する質疑応答<br>・イラストに関する質疑応答<br>・身近なトピックに関する質疑応答    |
| 3級  | ・短文語句空所補充<br>・会話文空所補充<br>・長文内容一致選択              | ・会話応答文選択<br>・会話内容一致選択<br>・英文内容一致選択                            | ・短文中の語句整序       | ・パッセージの音読<br>・パッセージに関する質疑応答<br>・イラストに関する質疑応答<br>・身近なトピックに関する質疑応答    |
| 4級  | ・短文語句空所補充<br>・会話文空所補充<br>・長文内容一致選択              | ・会話応答文選択<br>・会話内容一致選択<br>・英文内容一致選択                            | ・短文中の語句整序       |   |
| 5級  | ・短文語句空所補充<br>・会話文空所補充                           | ・会話応答文選択<br>・会話内容一致選択<br>・イラスト内容一致選択                          | ・短文中の語句整序       |   |

面接委員との  
リアルタイム双方向対話

| 1級     |     |      | 準1級    |     |      | 2級     |     |      | 準2級    |     |      |
|--------|-----|------|--------|-----|------|--------|-----|------|--------|-----|------|
| セクション  | 問題数 | 解答時間 |
| リーディング | 41  | 100  | リーディング | 41  | 90   | リーディング | 45  | 75   | リーディング | 45  | 65   |
| ライティング | 1   |      | ライティング | 1   |      | ライティング |     |      | ライティング |     |      |
| リスニング  | 27  | 30   | リスニング  | 29  | 25   | リスニング  | 30  | 25   | リスニング  | 30  | 25   |
| スピーキング | 3   | 10   | スピーキング | 6   | 8    | スピーキング | 5   | 7    | スピーキング | 6   | 6    |
| Total  | 72  | 140  | Total  | 77  | 123  | Total  | 80  | 107  | Total  | 81  | 96   |

| 3級     |     |      | 4級     |     |      | 5級     |     |      |
|--------|-----|------|--------|-----|------|--------|-----|------|
| セクション  | 問題数 | 解答時間 | セクション  | 問題数 | 解答時間 | セクション  | 問題数 | 解答時間 |
| リーディング | 35  | 40   | リーディング | 35  | 35   | リーディング | 25  | 25   |
| ライティング |     |      | ライティング |     |      | ライティング |     |      |
| リスニング  | 30  | 25   | リスニング  | 30  | 30   | リスニング  | 25  | 20   |
| スピーキング | 6   | 5    | スピーキング |     |      | スピーキング |     |      |
| Total  | 71  | 70   | Total  | 65  | 65   | Total  | 50  | 45   |

面接委員とのリアルタイム双方向対話により、  
話者を意識したコミュニケーション力の測定が可能。



問題例

Q: Do you have any plans for the summer?

Q: Should the government encourage people to have more children?

CEFR-英検 関連性調査について

英検のCEFRとの対応づけ手順

|                                 |      |   |
|---------------------------------|------|---|
| <b>ステップ1</b><br>Familiarization | 2007 | ・ヨーロッパの専門学会、研修会に参加し、研究計画、分析方法について有識者からのアドバイスを頂いた<br>・欧州評議会が提供する資料を英検の調査用に調整した   |
|                                 |      | ・英検の内容検討、英検Can-doリストとの比較、英検資格の使用法(海外認定、文部科学省の目標設定など)を考慮した   |
| <b>ステップ3</b><br>Standardization | 2007 | ・Standard-setting study 1<br>・1級・準1級の一次試験<br>・複数の分割点設定方法を使用するワークショップ形式  |
|                                 | 2010 | ・Standard-setting study 2<br>・3級、準2級、2級の一次試験<br>・Standard-setting study 3<br>・3級～1級の二次試験<br>・複数の分割点設定方法を使用するワークショップ形式 |
| <b>ステップ4</b><br>Validation      | 2010 | ・Study 4 ヨーロッパでの共同研究<br>・CEFRの公式研究マニュアルの著者との共同研究<br>・準1級の読解、語彙問題を対象にした<br>・スペインの語学学校で、英検準1級のCEFRレベルを検証した              |

英検のCEFRとの対応づけ手順にもとづき算出された英検各級の合否ラインに対応するCEFRバンドの対応表

| 学習者層       | CEFR | 級   |
|------------|------|-----|
| 熟練した言語使用者  | C1   | 1級  |
| 自立した言語使用者  | B2   | 準1級 |
|            | B1   | 2級  |
| 基礎段階の言語使用者 | A2   | 準2級 |
|            | A1   | 3級  |
|            |      | 4級  |
|            |      | 5級  |

## 中学校 学習指導要領解説と英検3級タスクとの対応関係

・初歩的な英語を聞いて話しての意向などを理解できるようにする。

会話の最後の発話に対する応答として最も適切なものを補う。

会話の内容に関する質問に答える。

短いパッセージの内容に関する質問に答える。

・初歩的な英語を用いて自分の考えを話すことができるようにする。

イラスト中の人物の行動や物の状況を描写する。

日常生活の身近な事柄についての質問に答える。

・英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。

会話文の空所に適切な文や語句を補う。

パッセージの内容に関する質問に答える。

会話文の空所に適切な文や語句を補う。

・英語を書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。

日本語を読み、その意味に合うように与えられた語句を並べ替える。

## 高等学校 学習指導要領解説(コミュニケーション英語 I / II)と英検2級タスクとの対応関係

・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりする。

・事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

会話の内容に関する質問に答える。

短いパッセージの内容に関する質問に答える。

・説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。

・説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。

60語程度のパッセージを音読する。

文脈に合う適切な語句を補う。

パッセージの空所に文脈に合う適切な語句を補う。

パッセージの内容に関する質問に答える。

・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見の交換をしたりする。

・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。

ある事象・意見について自分の意見などを述べる。

日常生活の一般的な事柄に関する自分の意見などを述べる。

・聞いたり、読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについてまとまりのある文章を書く。

短文または会話文を読み、前後関係に合うように与えられた語句を並べ替える。

語いと文法に関しては、中学校・高等学校 学習指導要領解説及び検定教科書を参考に問題を作成。

Table with 3 columns: 級 (Level), 文法レベル (Grammar Level), 語いレベル (Vocabulary Level). It details the relationship between exam levels and curriculum requirements for grammar and vocabulary.

英検Can-doリスト

20000人を超える英検1級から5級の合格者への大規模アンケート調査を実施し、「英語を活用して何が出来るか」をリスト化。

準1級 Can-do リスト

英検合格者の実際の英語使用に対する自信の度合い

Table listing Can-do skills for the Pre-1 level, categorized by reading (読む), listening (聞く), speaking (話す), and writing (書く).

※4技能の最初に太字で示した表現は、各技能のCan-do表現をもとにまとめたものです。 ※準1級の合格者のCan-do表現の全体像は、2級以下のCan-doリストにある項目も含めてお考えください。

2級 Can-do リスト

英検合格者の実際の英語使用に対する自信の度合い

Table listing Can-do skills for the 2nd level, categorized by reading (読む), listening (聞く), speaking (話す), and writing (書く).

※4技能の最初に太字で示した表現は、各技能のCan-do表現をもとにまとめたものです。 ※2級の合格者のCan-do表現の全体像は、準2級以下のCan-doリストにある項目も含めてお考えください。

英検Can-doリスト

20000人を超える英検1級から5級の合格者への大規模アンケート調査を実施し、「英語を活用して何が出来るか」をリスト化。

準2級 Can-do リスト

英検合格者の実際の英語使用に対する自信の度合い

Table with 2 columns: Skill Category (Listening, Reading, Writing, Speaking) and Can-do List items.

※4 技能の最初に太字で示した表現は、各技能の Can-do 表現をもとにまとめたものです。 ※準2級の合格者の Can-do 表現の全体像は、3級以下の Can-do リストにある項目も含めてお考えください。

3級 Can-do リスト

英検合格者の実際の英語使用に対する自信の度合い

Table with 2 columns: Skill Category (Listening, Reading, Writing, Speaking) and Can-do List items.

※4 技能の最初に太字で示した表現は、各技能の Can-do 表現をもとにまとめたものです。 ※3級の合格者の Can-do 表現の全体像は、4級以下の Can-do リストにある項目も含めてお考えください。

「思考力・判断力・表現力」との対応関係

「知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探求し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」

英検タスクは社会性のあるトピックに関する質問に対して技能としての英語のみならず、受験者が日頃の生活や学習の中で身につけた知識をも活用して意見を述べ、その根拠を具体的な根拠を元に議論を展開することが求められる。

準1級 ライティング

“Do you think it is important for young people to study science?”という問いに関して受験者がそれぞれの意見とそれをサポートする具体的な事例を述べる。

2級スピーキング

“Today, many people buy secondhand goods such as used books and used clothing. Do you think more people will buy secondhand goods in the future?”という問いについて、受験者がそれぞれの意見とそれをサポートする具体的な事例を述べる。

準2級スピーキング

“Do you think drinks in plastic bottles will be more popular in the future?”という問いについて、受験者がそれぞれの意見とそれをサポートする具体的な事例を述べる。

## 海外留学としての活用

・アメリカ・オーストラリア・カナダにおいて**370校**を超える高等教育機関における入学時の語学資格要件として認定。

全米で日本人留学生の多い大学  
(学部課程) **TOP 5校全て**において英検が認定

1. Kapiolani Community College (2級A HA州)
2. Santa Monica College (2級 CA州)
3. El Camino College (2級A CA州)
4. Orange Coast College (準1級 CA州)
5. De Anza College (2級A CA州)

出展: Country Locator Report 2012-13, IIE



## 入試優遇制度(2014年度)

点数加点や判定優遇を含む措置

|       | 推薦入試         | AO入試         | 一般入試       |
|-------|--------------|--------------|------------|
| 英検    | 198<br>26.8% | 137<br>18.5% | 32<br>4.3% |
| TOEFL | 135<br>18.2% | 109<br>14.7% | 27<br>3.6% |
| TOEIC | 154<br>20.8% | 123<br>16.6% | 28<br>3.8% |
| その他   | 92<br>12.4%  | 59<br>8.0%   | 14<br>1.9% |
| 計     | 206<br>27.8% | 142<br>19.2% | 34<br>4.6% |

英語教育の在り方に関する有識者会議 英語力の評価及び入試における外部試験活用に関する小委員会 配布資料より抜粋

従来型の推薦・AO入試・一般入試においても英検は広く活用されている。

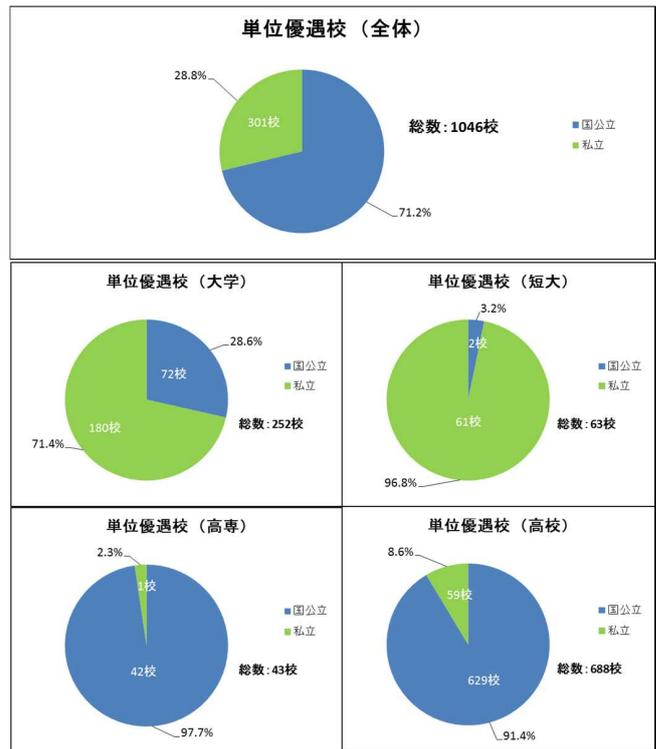
| 学校区分  | 入試区分 | 学校数 | 出願条件 | 出願優遇 | 科目免除 | 点数加算 | 判定優遇 | その他 |
|-------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|
| 大学    | 一般   | 63  | 9    | -    | 9    | 11   | 20   | 24  |
|       | 推薦   | 356 | 235  | 34   | 12   | 84   | 86   | 123 |
| 短大    | 一般   | 56  | 5    | -    | 6    | 7    | 21   | 20  |
|       | 推薦   | 151 | 34   | 11   | 4    | 33   | 53   | 44  |
| 高専    | 一般   | 7   | -    | -    | 2    | 2    | -    | 3   |
|       | 推薦   | 10  | 1    | 1    | -    | 7    | 1    | 2   |
| 国公立高校 | 一般   | 129 | 2    | -    | -    | 65   | 40   | 27  |
|       | 推薦   | 101 | 21   | 2    | -    | 16   | 47   | 18  |
| 私立高校  | 一般   | 223 | 7    | 43   | 5    | 95   | 89   | 30  |
|       | 推薦   | 305 | 43   | 130  | 6    | 108  | 78   | 45  |
| 中学校   | 一般   | 43  | 4    | 2    | -    | 8    | 24   | 8   |
|       | 推薦   | 8   | 4    | 1    | -    | -    | 4    | 2   |
|       | 帰国子女 | 12  | 1    | 1    | -    | 1    | 10   | 1   |

大学の例  
東京大学・一橋大学・上智大学  
広島女学院大学・大分大学  
学習院大学・名古屋外国語大学  
長崎県立大学・函館大学  
国際教養大学・静岡産業大学  
秋田大学等

## 単位認定制度(2014年度)

| 学校区分 | 全体   | 国公立 | 私立  |
|------|------|-----|-----|
| 全体   | 1046 | 745 | 301 |
| 大学   | 252  | 72  | 180 |
| 短大   | 63   | 2   | 61  |
| 高専   | 43   | 42  | 1   |
| 高校   | 688  | 629 | 59  |

### 英語科目の授業における単位認定措置



21

### 日本全国の各地域で英語教育に取り組む先生方へのインタビューを通して英検のクオリティーを高める試み。

中学校編



「英語インタラクティブフォーラム」と英検で意欲ある生徒を伸ばす  
坂東市立岩井中学校  
2014.04.30  
[▶ Read More](#)

高等学校編



コミュニケーション活動を通じて高まる 総合的な英語力  
新潟市立万代高等学校  
2014.04.30  
[▶ Read More](#)

高等学校編



少人数での徹底した言語活動で、世界に羽ばたく生徒を育成  
大阪市立南高等学校  
2014.04.30  
[▶ Read More](#)

中学・高等学校編



自主性を重んじた学習でつかみとる英検合格  
本郷中学校・本郷高等学校  
2014.04.30  
[▶ Read More](#)

自治体・地域編



青い海、輝く太陽、羽ばたけ高知の子どもたち  
高知大学 教授 那須恒夫  
2014.04.30  
[▶ Read More](#)

中学校編



学び合いを大切にした教育で学習意欲を高める  
大和市立南林間中学校  
2014.04.30  
[▶ Read More](#)

高等学校編



「英検スーパージム」で地域ぐるみの英語力向上を目指す  
聖カタリナ女子高等学校  
2014.04.30  
[▶ Read More](#)

中学・高等学校編



地域や世界に貢献する人間を育てるために  
広島新庄中学校・高等学校  
2014.04.30  
[▶ Read More](#)

自治体・地域編



故郷を豊かに語れるよう小中一貫英語で金沢を元気に!  
金沢市  
2014.04.30  
[▶ Read More](#)

22

日本全国の各地域で英語教育に取り組む先生方へのインタビューを通して英検のクオリティーを高める試み。

## 島根県立松江東高等学校の例

「今から15年前、同校に英語教員として赴任しましたが、すでに当時から和訳先渡し  
の授業や、オールイングリッシュでの授業を推進していました。その方式で学ん  
だ生徒たちは大学受験でも優秀な成績を残し、オールイングリッシュの授業でも  
受験に対応できるということが証明できたのです」

村上浩二校長



「授業において特に心掛けていることは、クイックレスポンスを意識した活動です」  
服部明奈先生



「生徒にコメントを書くときには、良いところを見つけて褒めるように心掛けて  
います。それが生徒の学習へのモチベーションにつながっていると信じています」  
サラ・ブレンクホーン先生



「イングリッシュダイアリーなどの活動を通し、生徒の英語力は伸びてきており、  
チャレンジする気持ちや自信につながっています。それは、英検の受験結果を見  
てもはっきりと感ずることができます」

緒方孝先生



23

大学入試や日頃の学習成果検証として活用されるテストとして、従来の英検を  
より望ましい試験仕様とするため、以下の改善を行う予定です。

## スコア化

英検の合否に加えてCEFRをベースとした4技能型テストの結果  
比較を可能とする統一尺度CSE(Common Scale for English)を元  
に算出されるスコアを追加し、各級合格者内および他級受験者  
の結果と比較することやTEAP・IELTS等の資格・検定試験結果と  
比較することが可能になります。

大学入試や日頃の学習成果検証として活用されるテストとして、従来の英検をより望ましい試験仕様とするため、以下の改善を行う予定です。

## ライティング導入

2級以下に「与えられたトピックに対して論理的に意見と根拠を述べるタスク」を導入するべく現在開発中です。

※導入時期は今後発表予定。

大学入試や日頃の学習成果検証として活用されるテストとして、従来の英検をより望ましい試験仕様とするため、以下の改善を行う予定です。

## 英検CBT

従来の英検に加えて英検CBTを追加することで受験回数を増加し、受験しやすさを向上。

・2015年1月検定試験では  
全国12会場での実施を予定

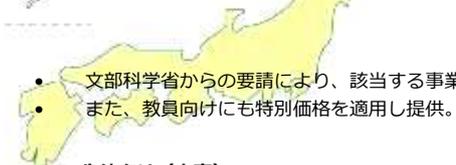
・今後準会場(学校ベース)用  
タブレット型を開発し、全国300箇所  
を目標に基盤を整備中。



島しょ部を含む日本全国を本会場・準会場で網羅

本会場:全国約230都市・400会場

準会場:全国約17000



- 文部科学省からの要請により、該当する事業の学校群に対し、本検定の価格を特別価格にて提供。
- また、教員向けにも特別価格を適用し提供。

■ 生徒向け (中高)

- ✓ 2014年度は、研究校/研修協力校に該当する学校に対し助成を実施

■ 教員向け

- ✓ 2014年度は、中学/高校の教員向けには1級/準1級に助成価格を適用。小学校教員向けには、1級/準1級に加え2級も助成価格を適用

| 級別/価格 | 通常価格  |       | 助成価格  |
|-------|-------|-------|-------|
|       | 本会場   | 準会場   |       |
| 1級    | 8,400 |       | 5,000 |
| 準1級   | 6,900 |       | 4,000 |
| 2級    | 5,000 | 4,600 | 3,000 |
| 準2級   | 4,500 | 4,100 | 2,500 |
| 3級    | 3,200 | 2,800 | 2,000 |
| 4級    | 2,100 | 1,600 | 1,000 |
| 5級    | 2,000 | 1,500 | 1,000 |

| 級別/価格 | 通常価格  |       | 助成価格  |
|-------|-------|-------|-------|
|       | 本会場   | 準会場   |       |
| 1級    | 8,400 |       | 4,000 |
| 準1級   | 6,900 |       | 3,000 |
| 2級    | 5,000 | 4,600 | 2,500 |
| 準2級   | 4,500 | 4,100 |       |
| 3級    | 3,200 | 2,800 |       |
| 4級    | 2,100 | 1,600 |       |
| 5級    | 2,000 | 1,500 |       |

27

新・英語スコア尺度「CSE」※ 開発の試み

公益財団法人 日本英語検定協会

※CSEとは：国際基準CEFRに対応したスコア尺度です (Common Scale for English)

2015年1月

## 発表の流れ

1. Common Scale for English 開発の背景
2. CSEの概要
3. 生涯にわたるベンチマークとしての活用
4. CSEの活用
5. CEFR-英検関連性調査
6. IRTによる英検級の等化
7. CSE尺度の開発経緯と展望

## 1. Common Scale for English 開発の背景

### <英語教育における現状>

- ◎グローバル人材育成の機運が高まっており幼少期から「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を総合的に習得することが求められています。
- ◎入試においても外部の資格・検定試験の活用が進んでいます。

### <英語資格・検定試験への課題>

- 現在日本では様々な資格・検定試験がありますが、ライフステージにおける時々のニーズに応じて受験する試験が変わってことが多くあります。
- 英語学習の初期段階から継ぎ目のない一貫したスコア尺度（CSE：後述）があれば、生涯に渡る英語学習を推進すること点において望ましいと考えられます。
- そのためにも、まずは国内最大英語検定団体である英検協会のテストをひとつのスコア尺度にまとめながら他の資格・検定試験を共通した尺度にマッピングすることは大いに「実用英語の普及」というミッションに合致する社会貢献と考えました。

## 外国語の学習・教授・評価のためのCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)について

- CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment) は、語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、分かりやすい、包括的な基準を提供するものとして、20年以上にわたる研究を経て策定された。欧州域内外で使われている。
- 欧州域内では、国により、CEFRの「共通参照レベル」が、初等教育、中等教育を通じた目標として適用されたり、欧州域内の言語能力に関する調査を実施するにあたって用いられたりしている。

|            |    |  |
|------------|----|--|
| 熟練した言語使用者  | C2 | 聞いたり読んだりした、ほぼ全ての内容を容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。   |
|            | C1 | いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。                |
| 自立した言語使用者  | B2 | 自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。   |
|            | B1 | 仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。                                  |
| 基礎段階の言語使用者 | A2 | ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。  |
|            | A1 | 具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合っているか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。 |

(出典) プリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

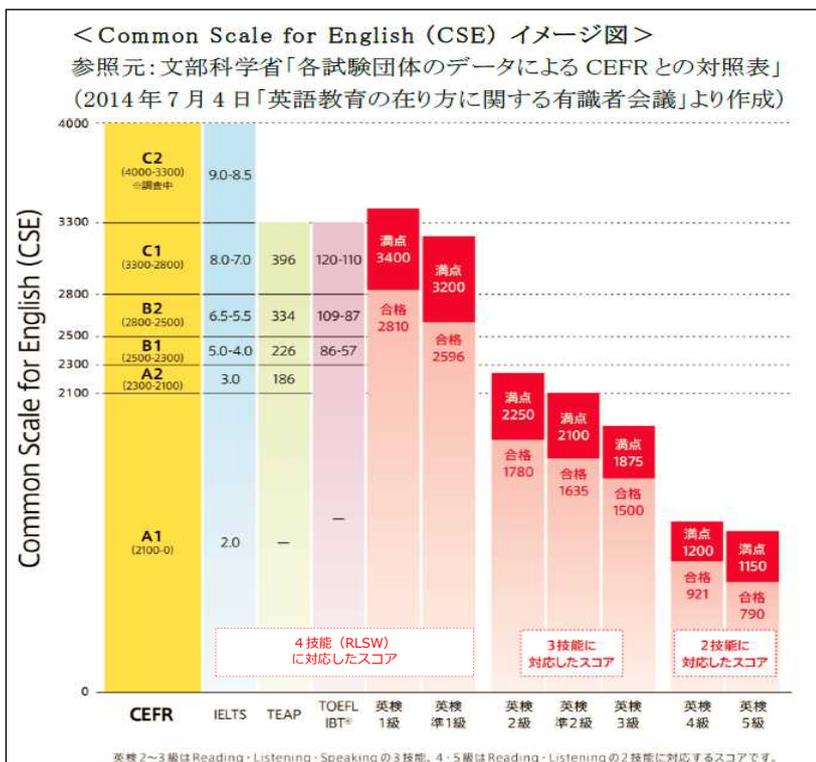
### CEFRと英検との対応関係

| CEFR | 英検       |
|------|----------|
| C1   | 1級       |
| B2   | 準1級      |
| B1   | 2級       |
| A2   | 準2級      |
| A1   | 3級/4級/5級 |

### 文部科学省 平成25年度「英語教育実施状況調査」より

- ・中学校第3学年に所属している生徒のうち、英検3級以上を取得している生徒は16.5%。  
取得はしていないが英検3級以上相当の英語力を有すると思われる生徒は15.7%で、合わせると**32.2%**。
- ・高等学校第3学年に所属している生徒のうち、英検準2級以上を取得している生徒は11.0%。  
取得はしていないが英検準2級以上相当の英語力を有すると思われる生徒は20.0%で、合わせると**31.0%**。

## CSE概念図と特徴

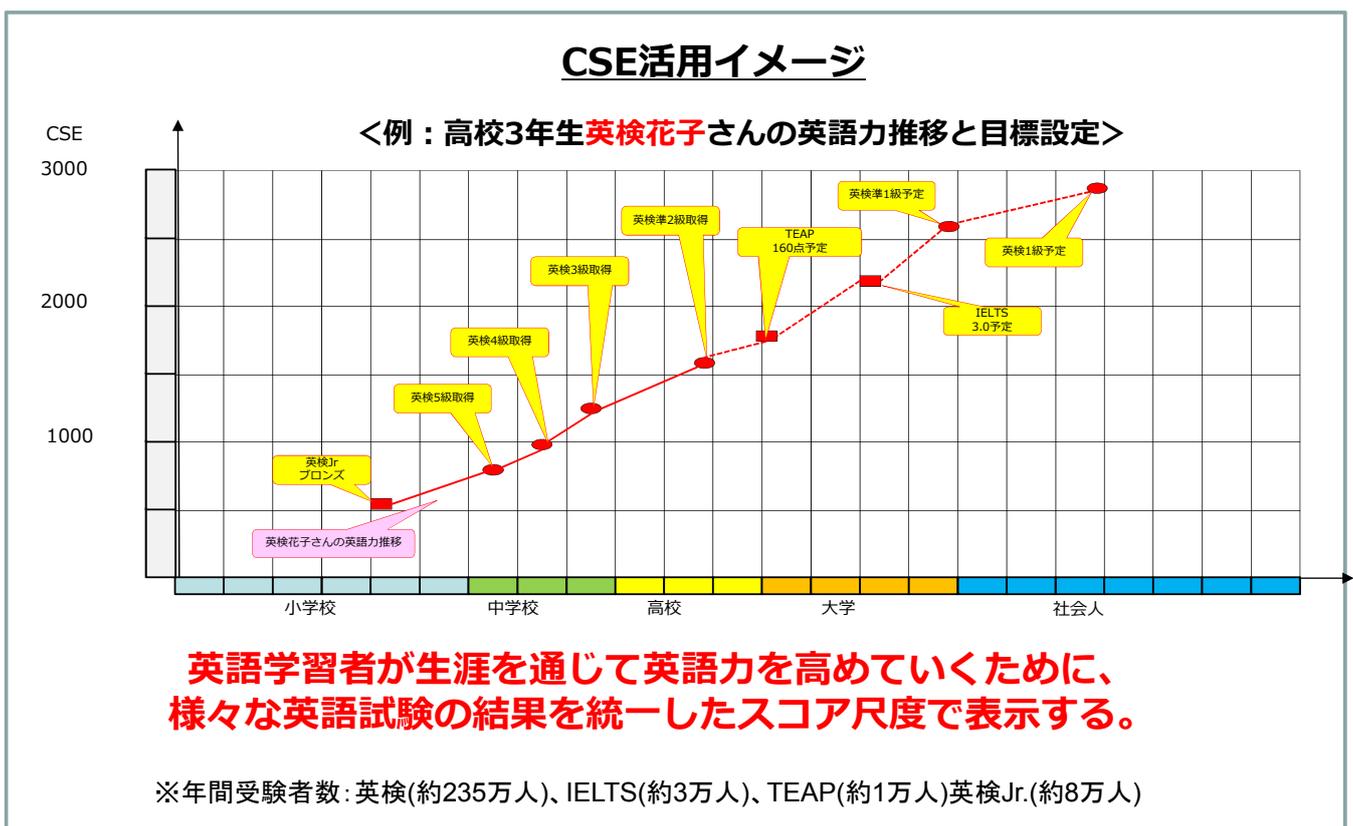


- ・各技能C2レベル満点1000点
- ・4技能C2レベル満点4000点
- ・4技能を測定する資格・検定試験の結果を統一スコア尺度で表示
- ・各資格・検定試験が測定する英語の技能数に対応した尺度スコアの算出も可能(例:英検)
- ・日本人の英語力の現状をふまえ、A1レベルの細分化が可能。

◎ 英検協会は一般財団法人日本生涯学習総合研究所（生涯総研）とともに2014年9月、CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)に対応した尺度CSE (Common Scale for English) を開発しました。

- CSEは英語力の国際基準であるCEFRをベースとしています。
- CSEは英語の初学者から上級者までの学びの成果を同一尺度上で表現します。
- CSEはスコアを4技能に分類し表記することで、各技能別の能力向上に役立ちます。
- CSEを継続的に活用することで過去の自分のスコアと比較し、英語力の向上を定量的に確認できます。
- 英検協会の試験（英検・IELTS・TEAP…）だけにとどまらず、他の資格・検定試験の団体にもご協力を仰ぎ、多くの英語に関連する資格・検定試験においても、CSEを元に比較可能とすることを目指しています。
- 国際通用性の向上のため、主にアジア諸国の関連するテストを運営する団体とも連携して、CSE尺度による各テストの比較検証を行っていきます。

## 3. 生涯にわたるベンチマークとしての活用



## 英語学習者

生涯にわたって総合的に、また技能別に継ぎ目のないスコア尺度で、英語力の伸長度を把握できるようになります。

## 学校

小・中・高・大での各児童・生徒の英語力、学校全体の英語力の傾向を細かく、経年的に把握できるため、指導/学習⇒測定⇒指導/学習のPDCAサイクルを回す上で指導方針が立てやすくなる。また各児童・生徒にあった試験のレベル・受験級(英検)の推奨がしやすくなります。

## 自治体

学校単位から市町村単位で技能別及び全体でのスコアの傾向を分析し、都道府県レベルで適切な指導方針が立てやすくなる。



# 4. CSEの活用

## 英検スコアリングサービスβ版

公益財団法人 日本英語検定協会

## 生涯総研HP上における

## 「英検スコアリングサービスβ版」のイメージ

英検の成績表から得られた素点得点を入力すると、CSE尺度得点に変換するサービス

## 英検スコアリングサービスβ版

<http://cse.shogai-soken.or.jp/>

## 先生向け使用方法説明動画

<https://www.youtube.com/watch?v=yLTfj4bDVks>

このサービスは、あなたの英検の得点をスコア\*に変換します。あなたの今のスコア\*とひとつ上の級の合格スコア\*との距離を把握することができます。

次回の英検受験に向けて、ならびに今後の英語学習のためにぜひとも活用してください。

\* Common Scale for English の尺度に基づいて算出されたスコアで、Common European Framework of Reference for LanguagesのA1レベル（初級）からC2（熟達した学習者）までの範囲を0から4000のスコアに尺度化したものです。

●現状では2013年度第2回、2013年度第3回、2014年度第1回のいずれかの回次で受験された方が対象となっております。

受験級・年度・回次・実施曜日を選んでください。

受験級: 英検 1級  一次試験免除 ※一次試験免除とは?

一次試験 受験日程(年/月/日): 年: [ ] 月: [ ] 日: [ ]

二次試験 受験日程(年/月/日): 年: [ ] 月: [ ] 日: [ ]

※一次試験免除者は、二次試験の年度/回次も入力してください。  
入力する場合、上部の「一次試験免除」のチェックボックスを必ずチェックしてください。

得点入力

一次試験

成績表に記載のある分野別の得点を選択してください。

|           |     |       |     |
|-----------|-----|-------|-----|
| 語彙・熟語(文法) | 読解  | リスニング | 作文  |
| [ ]       | [ ] | [ ]   | [ ] |

合計 [ ] 点  
※成績表に記載の合計得点と一致しているかご確認ください。

二次試験

成績表に記載のある分野別の得点を選択してください。  
二次試験を受験されていない方は入力不要です。一次試験結果からスコアを算出します。

|              |             |                        |               |
|--------------|-------------|------------------------|---------------|
| SHORT SPEECH | INTERACTION | GRAMMAR AND VOCABULARY | PRONUNCIATION |
| [ ]          | [ ]         | [ ]                    | [ ]           |

合計 [ ] 点  
※成績表に記載の合計得点と一致しているかご確認ください。

スコアを見る

# 4. CSEの活用

- 同一尺度上で異なる英語試験のスコア比較が可能となるので、CSEスコアを個別試験の英語得点とすることができます。

|      |      |      |       |       |     |     |  |  |           |
|------|------|------|-------|-------|-----|-----|--|--|-----------|
| C2   | 4000 |      |       |       | 8.0 |     |  |  |           |
|      | 3900 |      |       |       |     |     |  |  |           |
|      | 3800 |      |       |       |     |     |  |  |           |
|      | 3700 |      |       |       |     |     |  |  |           |
|      | 3600 |      |       |       |     |     |  |  |           |
| C1   | 3500 |      |       |       |     |     |  |  |           |
|      | 3400 |      |       |       |     |     |  |  |           |
|      | 3300 |      |       |       | 8.5 |     |  |  | 満点        |
|      | 3200 |      |       |       | 8.0 | 120 |  |  | 満点        |
|      | 3100 |      |       |       |     |     |  |  |           |
| B2   | 3000 |      |       |       |     |     |  |  |           |
|      | 2900 |      |       |       |     |     |  |  |           |
|      | 2800 | 398  | 7.0   | 110   |     |     |  |  | (合格) 2810 |
|      | 2700 |      |       |       | 6.5 | 108 |  |  |           |
|      | 2600 |      |       |       |     |     |  |  |           |
| B1   | 2500 | 334  | 5.5   | 87    |     |     |  |  | (合格) 2598 |
|      | 2400 |      |       |       | 5.0 | 86  |  |  |           |
| A2   | 2300 |      |       |       |     |     |  |  |           |
|      | 2200 | 226  | 4.0   | 57    |     |     |  |  |           |
| A1   | 2100 |      |       |       |     |     |  |  |           |
|      | 2000 |      |       |       |     |     |  |  |           |
|      | 1900 | 188  | 3.0   |       |     |     |  |  |           |
|      | 1800 |      |       |       |     |     |  |  |           |
|      | 1700 |      |       |       | 2.0 |     |  |  |           |
| CEFR | CSE  | TEAP | IELTS | TOEFL | 1級  | 準1級 |  |  |           |

TEAP 395  
→CSE 2800



TOEFL iBT 100  
→CSE 2750



英検準1級合格  
→CSE 2650



TEAP330  
→CSE 2500



各学部学科の配点に合わせて圧縮 (次頁)

\*またCEFRバンドやCSEスコアを基準に、各外部試験の出願基準、みなし満点、得点加算を設定することも可能となります。  
(例 みなし満点：CEFR B1 CSE2500を個別試験のみなし満点とする。  
TEAP 226, IELTS 5.5, 英検2級、等)

# 4. CSEの活用

- CSEスコアは各学部学科の個別入試における配点に合わせての調整が可能です。

例) A大学の入試における個別入試科目配点

| 教科・科目 | 国語  | 歴公  | 数学  | 理科  | 外国語 | 計     |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 配点    | 200 | 200 | 200 | 100 | 300 | 1,000 |

CSE尺度化された外部資格・検定試験スコアと個別試験得点の対応付け (併願データの経年調査等)

| 受験者 | 個別試験<br>英語得点 | 外部資格・検定試験<br>CSEスコア | 外部資格・検定試験<br>CSEスコア圧縮 | 順位 |
|-----|--------------|---------------------|-----------------------|----|
| Aさん | 260          | 2800                | 280                   | 2  |
| Bさん | -            | 2750                | 275                   | 3  |
| Cさん | 282          | 2650                | 265                   | 1  |
| Dさん | 274          | -                   | -                     | 4  |

## 調査の目標と方法

- ・各級の「合格者」がCEFRのどのレベルの能力を持っているかを検証。
- ・専門家(教育者など)によって構成されるパネルを中心して検証。  
⇒パネルの参加者がテストの内容を調査し、レベルを推定。  
⇒パネルの判定結果を分析し、分割点を決定。

レベル推定時の質問例:

- ①Basket法:「(1級の各問題に対して)CEFRのどのレベルにある受験者であればこの問題に正解できますか?」
- ②Modified Angoff法:「(1級の各問題に対して)CEFRのC1にギリギリ相当する受験者が100人いるとして、何名がこの問題に正解できると思いますか?」

### 英検・CEFR関連性調査の参加者

| 検証工程    | 資格              | 人数 |
|---------|-----------------|----|
| Study 1 | 日本の大学で3年以上の教員歴  | 13 |
|         | 英検の試験について知識     |    |
| Study 2 | 中・高の教師          | 13 |
|         | 英検の試験について知識     |    |
| Study 3 | 日本の大学で3年以上の教員歴  | 12 |
|         | 英検の試験について知識がある方 |    |

・パネルは日本の中学・高校・大学それぞれの現場で学生・生徒へ英語の指導を行い、日本の現況に精通した先生方で構成。

・本研究は下記国内外の学会でも報告・発表済み。

・Dunlea, J. (2011). *EIKEN Employing multiple test-centered standard-setting methods in relating exams to the CEFR*. Paper presented at the 15th Japanese Language Testing Association Conference, Osaka, Japan.  
 ・Dunlea, J., & Figueras, N. (2010). *Replicating a CEFR test comparison project across continents*. Paper presented at the Seventh Annual EALTA Conference, The Hague, the Netherlands.  
 ・Dunlea, J., & Matsudaira, T. (2008). *Investigating the relationship between the EIKEN tests and the CEFR*. Paper presented at the Pre-conference Research Colloquium EALTA 2008, Athens, Greece.

# 5. CEFR-英検関連性調査

## 2007-2010年における英検とCEFRの関連性調査経緯

|                          |      |   |
|--------------------------|------|---|
| ステップ1<br>Familiarization | 2007 | ■ヨーロッパの専門学会、研修会に参加し、研究計画、分析方法について有識者からのアドバイスを受けた。                       |
|                          |      | ■欧州評議会が提供する資料を英検の調査用に調整した   |
| ステップ2<br>Specification   |      | ■英検の内容検討、「英検Can-doリスト」との比較、英検資格の使用方法(海外認定、文部科学省の目標設定など)を考慮した。           |
| ステップ3<br>Standardization | 2007 | ■Standard-setting study 1<br>□1級・準1級の一次試験<br>□複数の分割点設定方法結果を用いるワークショップ形式 |
|                          |      | ■Standard-setting study 2<br>□3級、準2級、2級の一次試験                            |
|                          | 2010 | ■Standard-setting study 3<br>□3級～1級の二次試験<br>□複数の分割点設定方法を結果を用いるワークショップ形式 |

※Standard Settingには、Basket/Modified Angoff法を両方用いた。

## 英検とCEFRレベルとの関連表

| CEFR | 英検       |
|------|----------|
| C1   | 1級       |
| B2   | 準1級      |
| B1   | 2級       |
| A2   | 準2級      |
| A1   | 3級/4級/5級 |

# 6. IRTによる英検級の垂直等化

## 調査の目的と方法

- ・英検各級の合格に相当する英語能力及び問題難易度を検証し、級を通した全体的な関係性を明らかにする。
- ・IRT(Raschモデル)を用いた英検1級～5級の垂直等化と各級の水平等化  
⇒実験テストを行って得られた難易度パラメータを元に過去の英検一次・二次試験を等化。

※等化とは異なるテストの結果を比較可能とする統計的手続きのことです。  
※英検の場合、等化をすると異なる回次、級、曜日のテスト結果が比較可能となります。  
※IRTとはItem Response Theory(項目応答理論)という統計的な手法のことです。

- ・IRTから得られた能力値パラメータを元にReading/Listening/Writing/Speakingそれぞれを尺度得点化。

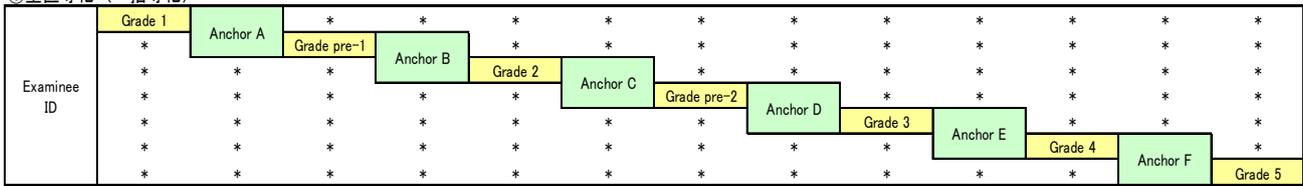
| 級   | 審査基準                                 |
|-----|--------------------------------------|
| 1級  | 広く社会生活で求められる英語を十分理解し、また使用することができる。   |
| 準1級 | 社会生活で求められる英語を十分理解し、また使用することができる。     |
| 2級  | 社会生活に必要な英語を理解し、また使うことができる。           |
| 準2級 | 日常生活に必要な英語を理解し、また使うことができる。           |
| 3級  | 身近な英語を理解し、また使うことができる。                |
| 4級  | 簡単な英語を理解することができ、またそれを使って表現することができる。  |
| 5級  | 初歩的な英語を理解することができ、またそれを使って表現することができる。 |

| 級   | 一次試験タスク                             |   |                 | 二次試験タスク   |
|-----|-------------------------------------|---|-----------------|---|
|     | 読む                                  | 聞く  | 書く              | 話す  |
| 1級  | ・短文語句空所補充<br>・長文語句空所補充<br>・長文内容一致選択 | ・会話内容一致選択<br>・英文内容一致選択<br>・Real-life放送内容一致選択<br>・インタビュー内容一致選択 | ・指定トピックに関する文章作成 | ・簡単な日常会話<br>・幅広い社会性のあるトピックに関するスピーチ<br>・スピーチ内容に関する質疑応答               |
| 準1級 | ・短文語句空所補充<br>・長文語句空所補充<br>・長文内容一致選択 | ・会話内容一致選択<br>・英文内容一致選択<br>・Real-life放送内容一致選択                  | ・Eメール等返信文作成     | ・簡単な日常会話<br>・イラストの描写説明<br>・イラストに関する質疑応答<br>・幅広い社会性のあるトピックに関する質疑応答   |
| 2級  | ・短文語句空所補充<br>・長文語句空所補充<br>・長文内容一致選択 | ・会話内容一致選択<br>・英文内容一致選択  | ・短文中の語句整序       | ・パッセージの書読<br>・パッセージに関する質疑応答<br>・イラストに関する質疑応答<br>・社会性のあるトピックに関する質疑応答 |
| 準2級 | ・短文語句空所補充<br>・長文語句空所補充<br>・長文内容一致選択 | ・会話内容一致選択<br>・会話文空所補充<br>・英文内容一致選択                            | ・短文中の語句整序       | ・パッセージの書読<br>・パッセージに関する質疑応答<br>・イラストに関する質疑応答<br>・身近なトピックに関する質疑応答    |
| 3級  | ・短文語句空所補充<br>・会話文空所補充<br>・英文内容一致選択  | ・会話内容一致選択<br>・会話文空所補充<br>・英文内容一致選択                            | ・短文中の語句整序       | ・パッセージの書読<br>・パッセージに関する質疑応答<br>・イラストに関する質疑応答<br>・身近なトピックに関する質疑応答    |
| 4級  | ・短文語句空所補充<br>・会話文空所補充<br>・長文内容一致選択  | ・会話内容一致選択<br>・会話文空所補充<br>・英文内容一致選択                            | ・短文中の語句整序       | -   |
| 5級  | ・短文語句空所補充<br>・会話文空所補充               | ・会話内容一致選択<br>・会話文空所補充<br>・イラスト内容一致選択                          | ・短文中の語句整序       | -   |

## IRTによる英検の等化

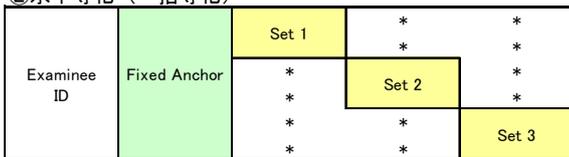
### ①垂直等化（一括等化）

※垂直等化とは難易度の異なる複数のテスト結果を比較可能とする統計的手続きのことで、



### ②水平等化（一括等化）

※水平等化とは難易度の同じ複数のテストの結果を比較可能とする統計的手続きのことで、

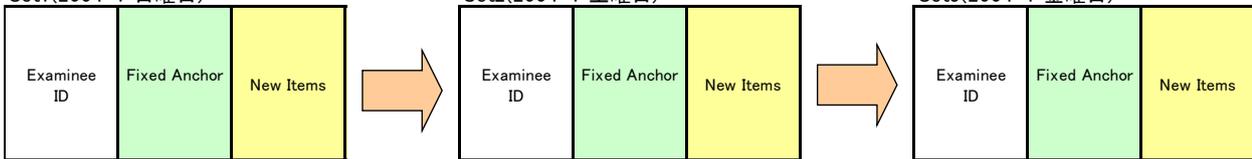


### ③本検定等化 I（個別等化）

Set1(2004-1 日曜日)

Set2(2004-1 土曜日)

Set3(2004-1 金曜日)

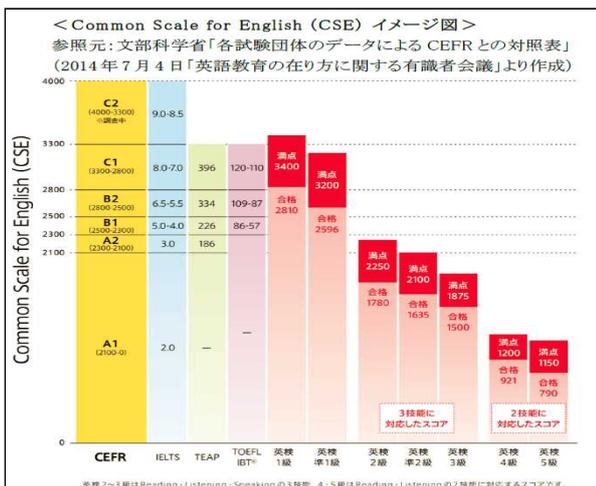


# 7. CSE尺度の開発経緯と展望

## 経緯

・CEFRとの対応付け、IRTによる各級の関係性の明確化が行われた英検をベースとし、「読む」・「書く」・「聞く」・「話す」の4技能それぞれの伸長度をCEFRレベルと関連性を持たせた尺度得点の算出を可能とするCSE尺度を開発。

・各試験が公表しているCEFRとの対応付け結果およびCSE尺度を用いて、各試験のCEFRレベルとの対応関係を記載。



※今後は英検3, 4, 5級と児童英検の関連性調査も進めながら、CEFR A1バンドに対しても下位分類の必要性も含めて検証をしていく予定です。

### 国際通用性の向上に向けた取り組み

一般財団法人日本生涯学習総合研究所と協力して、CSE尺度の国際通用性向上及び主に東アジアの試験団体が実施するテストとの比較検証を計画

参加依頼試験・団体(予定)

台湾

試験名: General English Proficiency Test

運営団体: Language Training and Testing Center

韓国

試験名: Test of English Proficiency developed by Seoul National University

運営団体: Seoul National University

※日本のみならず、主に東アジアの試験団体と協力し、国際的な比較検証を行うことで、日本人の英語力の相対的な伸長度を測定することができるようになります。

## 8 英語力調査テストについて

公益財団法人 日本英語検定協会が受験者、ならびに英語学習者の皆様に当該試験をよりご活用いただきやすいものとするべく実施を予定している以下の調査研究活動についてご報告申し上げます。

### ■英語力調査テスト概要

- ・期間 平成27年3月27日(金)～4月19日(日)
- ・目的 英語力調査研究事業として、同一受験者による複数の英語試験の結果を検証
- ・内容 英検、TEAP等の複数のテストを受験いただきます
- ・対象 平成27年度大学入試センター試験を受験された方

上記テスト時に受験者に回答いただくアンケート等とテスト結果を元に、テストの質の向上、CEFRとの関連性、異なるテスト得点の対応付け等を行う予定です。

**英検**

英検: 文部科学省

TEL: 03-3266-6560

<http://www.eiken.or.jp/eiken/>

**TEAP**

Test of English for Academic Purposes

TEL: 03-3266-6556

<http://www.eiken.or.jp/teap/>

**IELTS™**

TEL: 03-3266-6121

<http://www.eiken.or.jp/ielts/>